

{ 2018年7月登録 }



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

6

そとめ おおのしゅうらく
外海の大野集落

Ono Village in Sotome

ガイドマップ

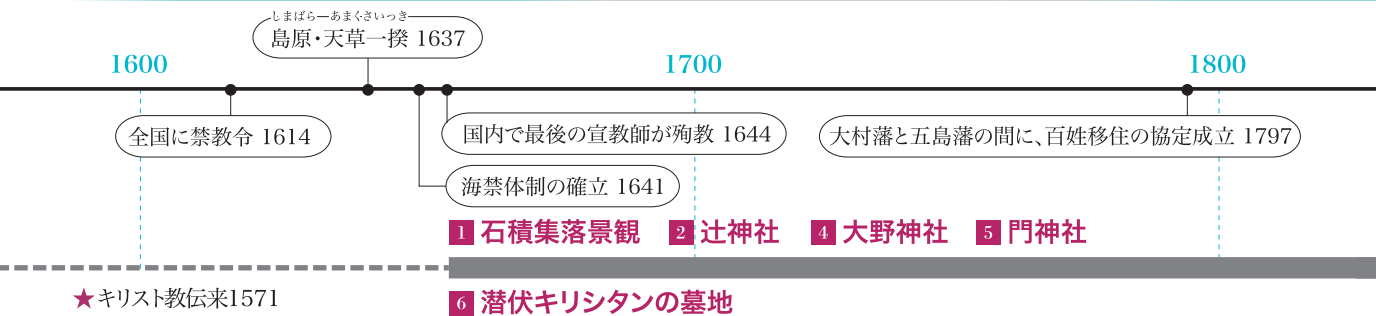


| 外海の大野集落 | の価値

I 宣教師不在と キリシタン「潜伏」のきっかけ

II 潜伏キリシタンが信仰を 実践するための試み

III 潜伏キリシタンが共同 維持するための試み



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」全体の価値における位置づけ

◎「外海の大野集落」は、潜伏キリシタンが何を拝むことによって信仰を実践したのかを示す4つの集落のうちの一つです。

◎神社にひそかにまつた自らの信仰対象を拝むことによって信仰を実践した集落です。

《基本情報》

文化財の名称	大野教会堂	長崎市外海の石積集落景観
種別	重要文化財	重要文化的景観
指定年	2008年	2018年(選定見込)
所在地	長崎市下大野町	長崎市

資産内の 見学マナー

資産内では生活が営まれています。住民のプライバシーを考え、マナーを守って散策してください。

- ゴミ箱を設置しておりませんので、ゴミはお持ち帰りください。
- 道路を歩く場合は、広がらず、必ず路側帯を歩いてください。
- 喫煙は所定の場所をお願いします。歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てなどはお止めください。
- 個人の敷地や田畑に入ったり、家の中を覗いたり、無断で戸を開けたりするのは絶対にお止めください。
- トイレは所定の場所をお願いします。

教会堂 見学の 事前連絡

教会行事により見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もありますので、見学を希望される際は、事前に各受付窓口のホームページからご連絡をお願いします。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター
(長崎の教会群インフォメーションセンター)

〒850-0862 長崎市出島町1-1-205(出島ワーフ2階)
TEL.095-823-7650 ◎受付時間 | 9:30~17:30

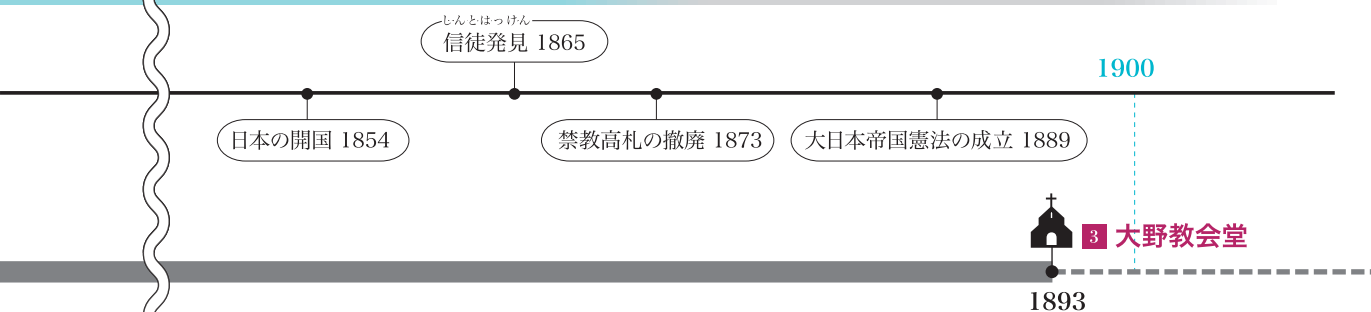
<http://kyoukaigun.jp>

キリシタン遺産 インフォメーション

検索



IV 宣教師との接触による 転機と「潜伏」の終わり



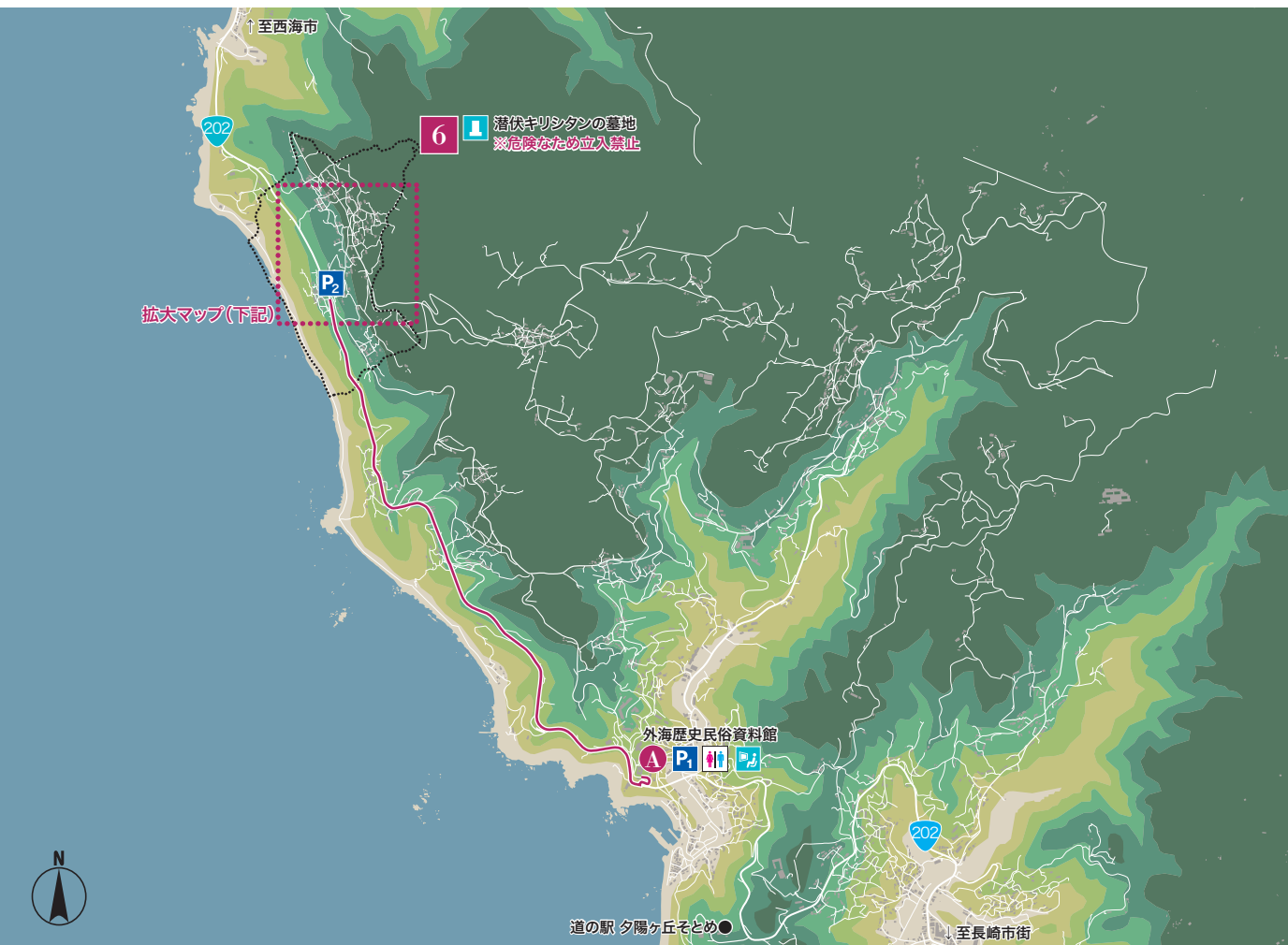
歴 史

- ◎東シナ海に面する西彼杵半島西岸は外海地域とよばれ、1571年にキリスト教が伝わり、宣教師の駐在所が置かれるなど宣教が進みました。
- ◎1615年に記されたドミニコ会の記録から、大野集落では禁教期に入ってもひそかに信仰が続けられていたことがわかります。
- ◎大野集落の潜伏キリシタンは、表向きは仏教寺院に所属しつつ、集落内の3つの神社である
おおのじんじゃ 大野神社 かどじんじゃ 4、つじじんじゃ 門神社 5、つじじんじゃ 辻神社 2の氏子としても振る舞いました。
- ◎門神社は、もともと様々な神がまつられており、その中にキリシタンを祭り、ひそかに拝むことで信仰を実践しました。
- ◎また、辻神社では古来の自然信仰にもとづく山の神に、潜伏キリシタンの信仰対象を重ねて、ひそかに信仰の対象としました。
- ◎「しんとはっけん信徒発見」後、宣教師と接触した大野の潜伏キリシタンは順次カトリックへ復帰し、当初は出津集落の出津教会堂へ通っていましたが、1893年には集落の中心に大野教会堂 3 を建てました。



※イラストはイメージです。

| 外海の大野集落 | の広域・拡大マップ



《推奨ルート》

A P₁ → P₂ → 1 → 2 → 3 → 4 → 5

..... 構成資産範囲	P 駐車場	神社
----- 徒歩で移動	トイレ	墓地、墓碑
—— 徒歩または自動車等で移動	展示	教会堂
0 重要ポイント	集落	
A 情報発信拠点施設		

| 外海の大野集落 | の重要ポイント案内

1

いしづみしゅうらくけいかん

石積集落景観



①

大野集落は、サツマイモ栽培による石積みの段畑が広がる景観が特徴です。17世紀後半からの人口増加により、開墾が進みました。開墾時に出てきた石などを用いて石垣を築き、大野岳のふもとまで畑が広がっていました。現在も段畑の石積みが良好に残されています。

2

つじじんじゃ

辻神社



①

辻神社は、大野集落内にある3つの神社うちの一つです。潜伏キリシタンは、集落のより身近な辻神社をキリスト教信仰の対象とする固有の形態を育みました。辻神社は禁教期の記録にも記されており、「山の神」をまつた神社でしたが、潜伏キリシタンの信仰を重ねていました。

3

おおのきょうかいどう 大野教会堂

※堂内には立ち入ることができません。



④

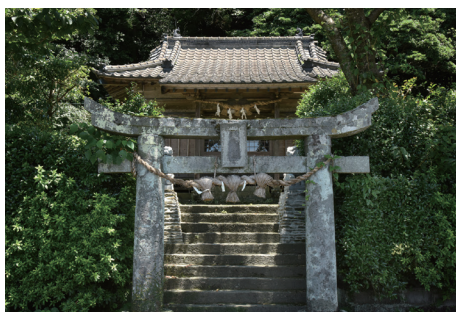


④

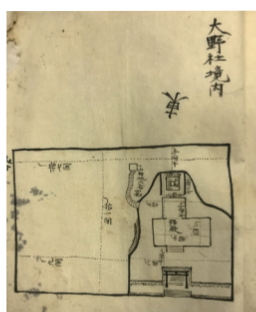
大野集落の潜伏キリシタンは、解禁後に出津教会堂に通っていました。大野教会堂は、1893年にド・口神父が出津教会堂の巡回教会堂として大野集落の中心に建てられ、彼らの「潜伏」は終焉を迎えました。赤土に石灰を混ぜた目地材と周辺でとれる玄武岩を用いた「ド・口壁」と呼ばれる独特の壁が特徴です。

4

おおのじんじゃ 大野神社



①



1875年の社神明細書の図面
(長崎市外海歴史民俗資料館所蔵)

大野神社は、大野集落内にある3つの神社うちの一つで、集落全体の守り神として最も社格が高く、代々庄屋が神主を務めていました。1671年に遷宮されたとの記録が残されており、禁教期の頃から集落にある神社です。潜伏キリシタンは、表向きは大野神社の氏子となって神道への信仰を装いながら、自分たちの信仰をひそかに続けました。

5

かどじんじゃ
門神社

①

門神社は、大野集落内にある3つの神社うちの一つです。潜伏キリシタンは、集落のより身近な門神社をキリスト教信仰の対象とする固有の形態を育みました。門神社には氏神として様々な神が祀られており、潜伏キリシタンはそこにキリシタンを重ねてまつたと伝えられています。

6

せんぶく ぼち
潜伏キリシタンの墓地

※危険なため立ち入りはご遠慮ください。



①

この墓地は、大野集落の入道と呼ばれる場所にあります。大野集落の住民は共同墓地に埋葬していましたが、解禁後に表立ってカトリックへの復帰を表明した者は、庄屋や役人に共同墓地への埋葬を認められず、集落から離れたこの場所に埋葬されました。その墓地からは十字架が出土しています。

| 外海の大野集落 | のその他のポイント案内

A

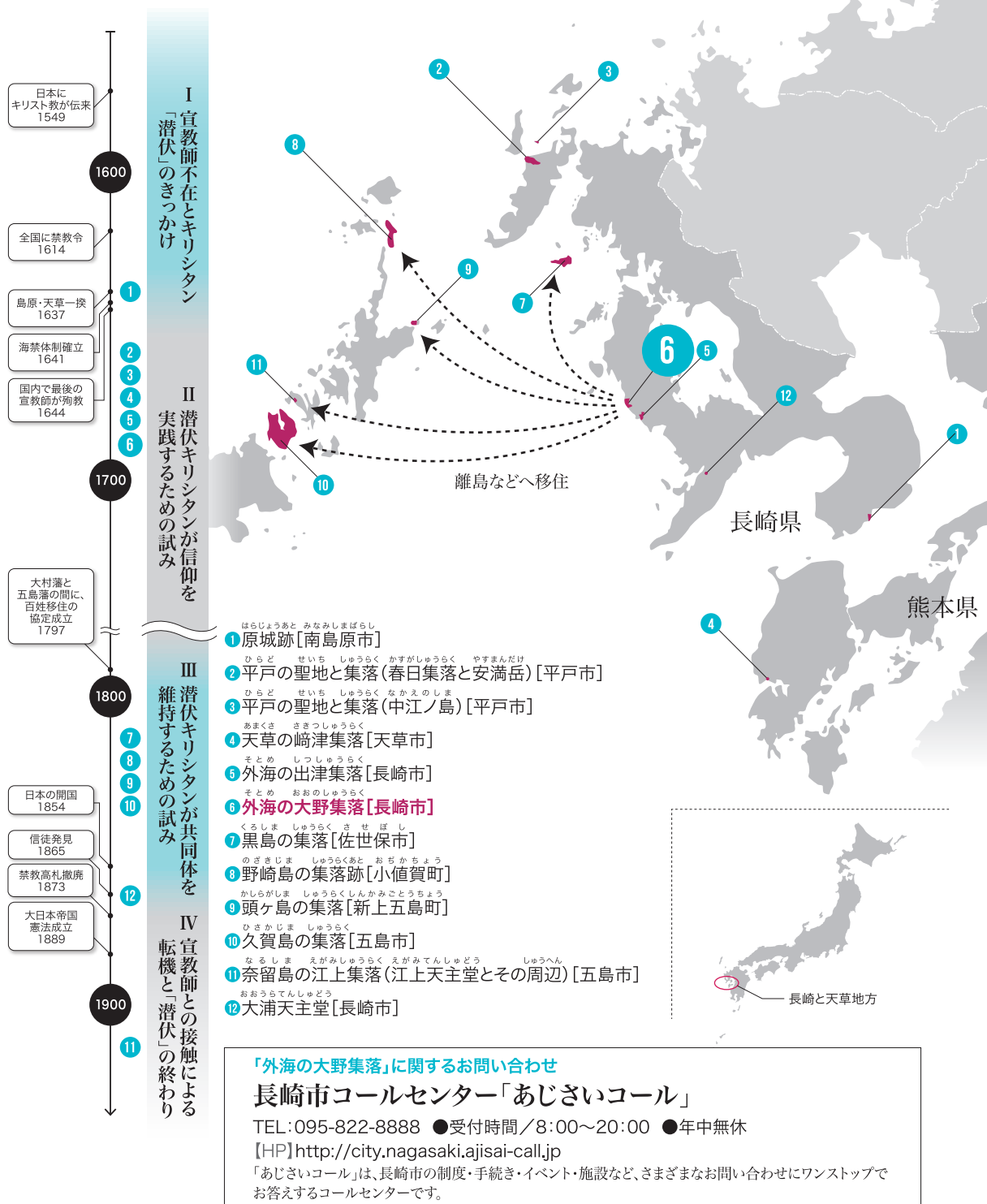
そとめれきしんぞくしりょうかん
外海歴史民俗資料館

①

外海地域のキリスト教及び集落に関する歴史・文化の資料などを展示しており、豊富なキリスト教関連の資料を所蔵しています。

- 所在地／長崎市西出津町2800 Tel:0959-25-1188
- 開館時間／9:00～17:00
- 休館日／12月29日～1月3日
- 入場料金／一般300円(240円)、小・中・高校生100円(60円)
※カッコ内は10人以上の団体料金

●U R L／<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p000837.html>



企画・発行/長崎県、熊本県、長崎市、佐世保市、平戸市、五島市、
南島原市、小値賀町、新上五島町、天草市

潜伏キリシタン遺産 検索 <http://kirishitan.jp>

撮影協力/①池田 勉、②日暮 雄一

2019年6月発行



国際連合教育科学
文化機関



長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産
世界遺産登録年:2018年